



平成三〇年度
富士・沼津・三島3市博物館共同企画展
幕末・明治の富士・沼津・三島

富士
富士山かくや姫ミュージアム
産業のまち
富士の幕開け
7月28日(土)~10月21日(日)

沼津
沼津市明治史料館
御一新!?
~庶民が体験した
沼津の幕末維新~
7月1日(日)~9月30日(日)

三島
三島市郷土資料館
近代三島を
つくった人々
前期 政治・教育編
6月23日(土)~9月24日(月祝)
後期 経済・文化編
10月13日(土)~1月3日(木)



平成30年度

富士・沼津・三島3市博物館共同企画展

幕末・明治の富士・沼津・三島

ペリー来航にはじまった幕末の動乱は、武士も町人も百姓もさまざまな形で巻き込んでいきました。特に東海道沿い・駿河湾沿岸である富士・沼津・三島には、たくさんの方がさまざまな目的で行き交いました。ある人は国書を携えて通商をもとめて、ある人は長州征伐の総大将として、ある人は朝敵となった徳川氏を攻めるために、この地に至るのでした。歴史の表舞台で活躍した人物に翻弄されながらも、この地域の人びとはこの動乱の時代を生き抜きました。

そして明治時代を迎えると、富士・沼津・三島の人びとが地域の近代化のために活躍するようになります。諸外国との交易に対応した産業、原材料や製品を運ぶための交通網の整備、地域の将来を担う人材育成のための教育。自らの才覚を地域の発展のために発揮する時代となりました。その成果がいまの富士・沼津・三島をかたちづくるのでした。

富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会では、三市の博物館が連携して企画展示を開催します。平成30年度は明治維新150周年を記念して、幕末から明治期にかけての富士・沼津・三島の様子をご紹介します。

三島市郷土資料館

前期 政治・教育編
6月23日(土)~9月24日(月祝)
後期 経済・文化編
10月13日(土)~1月3日(木)

近代三島をつくった人々

明治時代の急速な近代化と発展を支えたのは、それ以前から蓄積された地域の力であり、その中心的な担い手は江戸時代には名主等として地域をまとめた有力者たちでした。

今回の企画展では、維新期の混乱をくぐり抜けて新しい時代を作った地域の人々の奮闘にスポットを当て、明治期の三島を紹介します。

関連イベント (会場: 特に明記がない場合は三島市郷土資料館)

日時	内容	申込期間・定員・対象
9/15(土) 10:00~12:00	紙で幻灯機をつくろう	申込期間: ~8/24、定員10名、小学生以上対象(小3以下保護者協力必要)、応募多数時抽選
11/3(土祝) 10:00~12:00 13:00~14:30	明治のペーパークラフト「立版古」をつくろう	事前申込不要、時間内随時受付、所要時間20分程度
11/17(土) 10:00~12:00	コンデンスミルクとバターをつくろう	申込期間: 9/11~、先着10名、小学生以上対象(小学生保護者同伴)、会場: 三島市生涯学習センター

ギャラリートーク(申込不要)
7/15(日)、8/18(土)、
11/25(日)、12/1(土)
11:00~、13:30~、30分程度

関連講演会 (各回とも定員35名、9/11~受付開始、事前申込優先、13:00開場、13:30開始)

日時	内容	講師
10/13(土)	幕末・近代の三島の教育 ~並河誠所と福井雪水~	桜井祥行氏(伊豆の国市文化財保護審議会副会長、韮山高校校長)
10/28(日)	伊豆の自由民権運動(仮)	高橋廣明氏(下田市史編さん室)
11/11(日)	館蔵資料から見る 幕末・明治の三島(仮)	館職員



開通当時の駿豆電気鉄道

沼津市明治史料館

7月1日(日)~9月30日(日)

ごいっしん 御一新!?

~ 庶民が体験した沼津の幕末維新 ~

幕末維新期の沼津といえば「沼津兵学校」「江原素六」「静岡藩」などの武士階級についてこれまで力を入れて取り扱ってきましたが、この時代、当然ながら「庶民」も生きていました。

「お札降り」や「ええじゃないか」が起こって、お殿様がいなくなったと思ったら、徳川の家来が大挙移住。名主たちが古文書を引っ張り出して既得権を維持しようとする一方で、庶民は権利意識に目覚めて動き始めました。「立身出世」が現実となり、庶民から軍の重鎮にまで昇りつめる者もでてきました。

まさに「大変革」であったこの時代。一般の民衆はどのように生きていたのでしょうか？今回は「庶民」の視点から幕末維新という時代に光を当て、史料から見える様々な局面を紹介します。

講演会

演題 「五日市憲法
~開かずの蔵で見つけた民衆憲法~」
講師 新井勝紘氏 (元専修大学文学部教授)
日時 9/9(日) 14:00開演
定員 80名
申込 7/1(日)から受付開始



ベアト撮影 原宿帯笑園

ギャラリートーク (申込不要)

7/11(水)、7/20(金)、
8/9(木)、8/25(土)、
9/6(木)、9/21(金)
11:00~、30分程度

富士山かぐや姫ミュージアム

7月28日(土)~10月21日(日)

さんぎょう 産業のまち 富士の幕開け

いまの「産業のまち 富士」としての礎は明治時代に築られました。新しい時代をどう生きるか考えた富士市の先人たちは、製紙・製茶・養蚕・製糸・林業・農業などの諸産業に力を入れました。これらの産業は、交通網の発達や治水・灌漑設備の整備と結びついて、地域の発展に大きな影響をあたえました。

富士会場では、いまの「産業のまち 富士」をかたちづかった製紙業をはじめとした諸産業が、幕末・明治期にどのように近代化していったのかを中心に紹介します。

ギャラリートーク(申込不要)

7/29(日)、8/4(土)、8/25(土)、
9/8(土)、9/22(土)、10/14(日)、
10/21(日)
11:00~、14:00~、30分程度



東海道線鈴川駅のようす

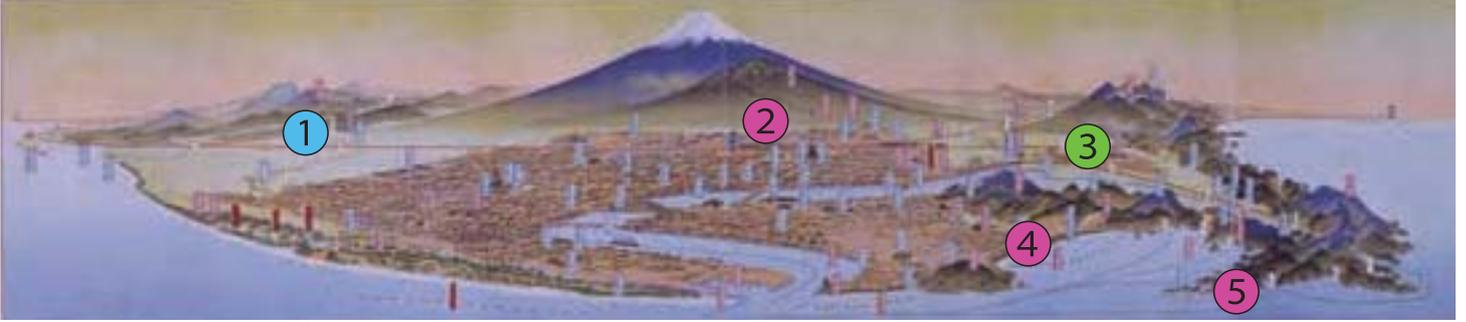
富士・沼津・三島三市博物館連絡協議会 加盟館

①富士山かぐや姫ミュージアム

〒417-0061 富士市伝法 66-2 広見公園内
電話番号：0545-21-3380
アクセス：吉原中央駅（バスターミナル）3番線より
「広見団地入口」下車、徒歩3分
観覧料：無料
開館時間：9:00～17:00
休館日：月曜日（8/13・9/17・9/24・10/8は開館）、
祝日の翌日

③三島市郷土資料館

〒411-0036 三島市一番町 19-3 楽寿園内
電話番号：055-971-8228
アクセス：JR三島駅南口より徒歩5分 市立公園楽寿園内
観覧料：無料（楽寿園入園料大人300円必要、15歳以下無料、
学生は学生証提示で無料）
開館時間：9:00～17:00（11/1より16:30閉館）楽寿園入園は閉館の30分前まで
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、燻蒸期間（9/25～10/2）、
年末年始（12/27～1/2）



「沼津」沼津市役所発行所・著作権並版權所有者吉田初三郎 昭和14年以降（沼津市明治史料館保管・西家孝重氏寄託）

②沼津市明治史料館

〒410-0051 沼津市西熊堂 372-1
電話番号：055-923-3335
アクセス：JR沼津駅南口 富士急シティバス2番線乗り場より
「明治史料館前」下車
観覧料：大人200円 小人100円（市内の小中学生無料）
開館時間：9:00～16:30
休館日：月曜日（祝日は開館）、祝日の翌日（土日を除く）、
毎月最終平日

④沼津市歴史民俗資料館

〒410-0822 沼津市下香貫島郷 2802-1 沼津御用邸記念公園内
電話番号：055-932-6266
アクセス：JR沼津駅南口より7番線乗り場「長岡駅・獅子浜」乗車、
または8番線乗り場「三津方面行き」乗車、「御用邸前」下車
観覧料：無料（御用邸記念公園入園料大人100円、小人50円必要）、
市内の小中学生無料
開館時間：9:00～16:00
休館日：月曜日（祝日は開館）、祝日の翌日（土日を除く）、毎月最終平日

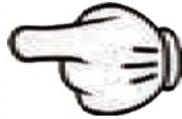
⑤沼津市立戸田造船郷土資料博物館

〒410-3402 沼津市戸田 2710-1
電話番号：0558-94-2384
アクセス：JR沼津駅よりバス乗車（約70分）「江梨」下車、
デマンドタクシー（約30分）「戸田停留所」下車
観覧料：大人200円 小中学生100円（市内の小中学生無料）
開館時間：9:00～16:30
休館日：水曜日（祝日は開館）、祝日の翌日（土日を除く）

マッチ箱形ふせん



各会場 先着100コ
記念品がなくなり次第終了 どの会場でもOK!!



スタンプラリー 3会場をめぐって 記念品をGET!!!

受け渡し印



ふ じ

ぬ ま づ

み し ま